こがねい

小金井市放射能測定器運営連絡協議会

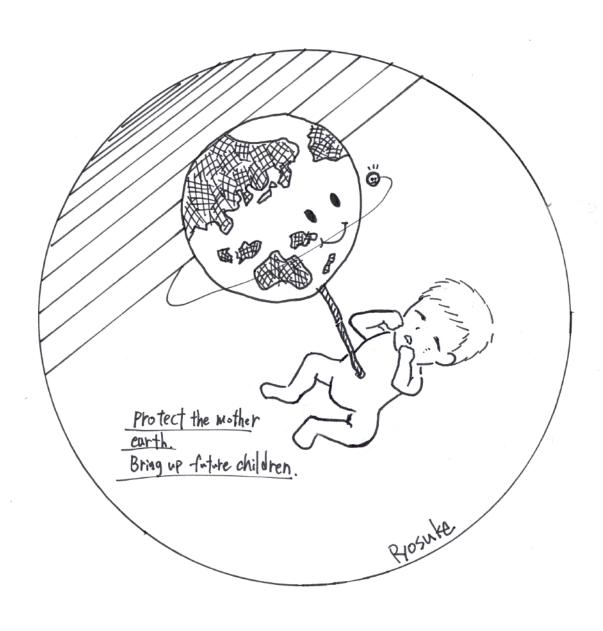


イラスト: 菊地亮介(高校生)

測定室25周年によせて

小金井市放射能測定器運営連絡協議会は2015年で活動開始から25周年となりました。 そこで今回は、これまで会に関わった方々にメッセージを寄せていただきました。(順不同)

- 4半世紀の活動に心底感謝である。福一原発事故後、測定室が私を「放射脳ママ」から解放してくれた。 小金井の汚染状況を知り、気になる食品を自分で測ることがこれほど安心につながるとは、メンバーになってみてわかったこと。一度放射能で汚れたら元にはなかなか戻らない怖さも実感している。(矢澤朋香)
- 2011年の原発事故後にこの協議会の存在を知りました。小金井市ですでに食品の放射能を測っているところがあったなんて驚きましたが、発足が1990年と聞いてさらに驚きました。放射能に関する情報が知りたいという安直な思いで会員になりましたが、原発や放射能の問題があるかぎり、コツコツと活動を続けることの大事さを感じます。(菊地)
- 25年間の活動の中で、福島原発大事故後の 目まぐるしい日々のことは忘れられません。あの 時、「地震大国日本での原発稼働は絶対に許され ない」と心に刻みました。命(子どもたちの未来) より目先の経済優先で原発依存を続け、再稼働 を強行する国に対し抗議の声を上げ続けたいと 思います。(緑町・中嶋直子)
- ■「小金井に放射能測定室を」という考えは、無認可保育園に子どもを預ける母数人と当時保育者だった伏屋さんとのおしゃべりの中で生まれた。私たちの頭の中にあったのは、「もし福島原発でチェルノブイリのような事故が起きたら、東京はどうなる? 子どもたちはどうなる?」という不安だった。それが20数年後にこんな形で役立つとは……。測定を続けてきてくださった方々への感謝と、原発を止められなかったことへの後悔がめぐり続ける。(可知めぐみ/東町)*1988年市議会陳情提出メンバー

- チェルノブイリ事故から29年で小金井測定室が25年目。311からは、まだたったの4年半。とにかく長~く続けてきた私たちの実績と経験には、これからもきっと必要とされる何かがある。そのポイントは・・・、市民自治の心意気と市民参加の仕掛けと仕組みだ!と、私は秘かに確信しています。(漢人明子)
- 初めての出産をして1ヶ月後、福島の原発事故がおきました。当時あまりにも少ない情報をかき集め、緊張感や警戒心の連続のような日々でした。食べ物・土壌・空気・水…。数ヶ月過ぎた頃、測定室の事を知り、放射能に危機感を抱いている同志に出会えた事が、今もとても励みになっています。(湯川)
- 3.11の時に息子の高校のお茶から高濃度のセシウムが検出され他人事ではないと思い、参加させていただきました。今は仕事の都合でなかなか出ることができませんが、よろしくお願いいたします。(西田)
- 初めて参加した会議は、数字が読み上げられてクラクラ…机に置いてある食べ物を検体だと思って睨んでいたらお茶菓子でした。深刻な課題を丁寧に穏やかに話し合う会議がとても印象的でした。25年間積み重ねられた日々の測定と定例会、活動を支えて下さったみなさんに感謝しています。(さかいみほ)
- 震災の少し前から原発はやはり危ないのではないか…と思い始めていたところでの福島原発事故。あまりにも原発や放射能について知らない事が多い事に愕然としていたところ、なんと小金井市で無料で食品の放射能を測定している団体があることを知り、参加を決めました。活動を通し、たくさんの事を学んでいます。(諏訪問)

- 25年前、娘が生まれた3か月後に『放射能測定室』が誕生していたとは!存在すら知らなかったあの頃。 漠然と感じていたチェルノブイリ原発事故の不安。そして四半世紀後、測定メンバーとなった私に来月初 孫が生まれる。25年前の先輩ママ達の『放射能から 子どもを守る!』決意に改めて感謝します。(田頭祐子)
- 原発事故以降「測定室」に関わり「不安ならば測れば良い」ということを知った。現状がわかれば、どう対応していくか決めることができます。それは身を守ることでもあり、食べ物を大切にするということでもある。25年間、測定を続けてこられた皆さんに敬意を表します。(坂井えつ子)
- 福島原発事故後、地震火山大国日本の海岸線が原発だらけになるのを止められなかった大人のひとりとして、「負の遺産」を次世代に負わせた責任を痛感する日々でした。測定室のメンバーになり、食品の残留放射能を測ることで「放射能の見える化」ができるようになり、少しずつ心が軽くなっています。(安藤能子)
- 福島原発事故は私の人生を大きく変えた。福島から助けを求める声は未だ続く。小金井の親たちの必死の思いも受けとめてきた。事故後、急ぎ集まった測定室の会議を忘れられない。国内で最大級の過酷事故が起こってしまった無念。それでも諦めない測定室の人たちにいつも力をもらっている。(片山かおる)
- 福島の原発の事故のあと、小金井市に測定室があることを知りました。状況が良くなっているわけではなく、記憶が薄れてきてしまっている今こそ、長年、測定してきた結果や活動が少しでも生活の安全に繋がっていったらと思い活動してます。(阿南)
- これまで地道に市民が活動を積み重ねて、25年。その一時に関わることができ、嬉しく思います。その気持ちを込めて、短歌を二首。
- ・日々暮らす内の不安に市民立ち放射能測定は二 十五年経つ
- ・原発の事故ありてなお活動の意義の大きさ感じ入りたり (小山美香) *OB:1997~2009

- 25年もよくがんばった!設立当初、10年やれば署名集めた責任が果たせるかな?とこわごわ一歩を踏み出し、続ける自信など全く無しでした。原発や放射能をとりまく酷い現実にずっと背中を押されてきた。3.11直前に小金井から転居したけれど古い仲間と若い人達がいるから私も新宿でがんばるぞー(伏屋)
- 身近な人に甲状腺癌が発覚し、同じ頃『小さき声のカノン』を観て、東京にいる大人もその犠牲になりうるのだと、放射能の脅威を自分の事として認識しました。今後どう生きていくのか考える中で測定室と出会いました。積極的に行動することは苦手ですが、マイペースで参加したいと思っています。(今川M)
- ■『小さき声のカノン』上映会で「測定室」の存在を知りました。放射性物質による汚染状況や被ばく対策について、地域・生活に根差した情報に接したいと思い入会したばかりです。メンバーの皆さんが魅力的で学べることが多く、入会できてよかったと思っています。よろしくお願いします。(今川恭一)
- 活動を通して数々の出会いに恵まれた幸運を 今かみしめています。幾度かの故障はあったもの の25年間測定機器が動き続けてくれたこともまた 大きな幸運でした。しかし長い間働いた測定器は もう悲鳴をあげています。次の測定器との交代を 一日も早く実現させたいと願っています。(香田)
- 私が協議会に参加したきっかけは、生活クラブ生協の支部委員をした時に[放射能測定室]という担当が有り、当時 測定室の在る上之原会館に家が近かった事と、月一回の定例会の出席で子連れでも良いと聞いて引き受けました。そして、一年間の任期終了の3月末に「個人会員で残りませんか?」と声かけ頂き個人参加になり、測定器の使い方などを教えて頂き測定業務もさせて頂いてます。2011年の震災後に会員も増えて、今後も測定を主体に協議会の皆さんと活動を続けて行きたいと思っています。(勝沼)

【2014年8月~2015年8月】10Bq/kg未満検体 月別一覧 (/数字は測定日)

※2014年7月中旬~2015年2月中旬までの期間は測定器修理のため測定を休止しました				
2月	/13 花豆(長野県) /18 しその実(福島県川俣町) /18 ナス(福島県伊達町) /20 ニンニク(福島県川俣町)/20 鶏肉(福島県川俣町) /25 ギンナン(不明) /27 白米(山形県)/27 麦茶(カナダ産)			
3月	/4 ほうれん草(東京都小平市) /4 柿(市内) /6 みかん(市内) /6 米(福島県白河市) /11 柿(市内) /11 米(2013年産・栃木県) /16 柿(市内・2014年) /20 米(福島県) /20 しょうゆ(福島県) /25 玉露茶(佐賀県・2014年) /27 せんべい(日本) /27 せんべい(日本)			
4月	/1 卵(福島県川俣町) /1 里芋(福島県川俣町) /3 じゃがいも(福島県川俣町) /3 竹の子ご飯の素(日本) /8 山菜ご飯の素(日本) /10 赤飯(日本) /10 さつまいも(焼き・茨城県) /15 エゾシカ肉(北海道) /17 水カレイ(生・茨城県) /17 なめたカレイ(生・宮城県) /22 煮豆(長野県) /22 大根(市内) /24 たけのこ(市内) /24 原木しいたけ(茨城県)			
5月	/1 まいたけ(茨城県) /1 びわの葉 (市内) /8 白米・炊飯(青森県) /8 自家製味噌(不明) /13 たけのこ(市内) /13 たけのこ(市内) /15 おかき(もち米・日本) /15 せんべい(日本・うるち米) /20 ポテトチップス(不明) /20 みかん(愛媛県) /22 ナチュラルミネラルウォーター(三重県) /22 玄米・炊飯(熊本県) /27 金柑(市内) /27 桑の実(市内・くじら山) /29 菌床しいたけ(群馬県) /29 麦茶(日本)			
6月	/3 赤魚西京漬(ロシア) /3 びわの実(市内) /5 たけのこ(千葉県) /5 あじ(千葉県) /10 納豆(日本) /10 真いわし焼き魚(宮城県) /12 柿の葉(福島県) /17 胚芽米(福島県) /17 味付のり(有明産) /19 せんべい(不明) /24 ぬかどこ(不明) /24 味噌(不明) /26 焼き銀鮭(宮城県) /26 菌床しいたけ(新潟県)			
7月	/1 じゃがいも(埼玉県) /1 緑茶(日本) /3 ニジマス甘露煮(不明) /8 やまもも (市内本町) /8 麦茶 (日本) /10 ラーメンの麺(不明) /10 どくだみ草(市内緑 町) /15 桃ジュース(福島県) /15 たら(焼き・北海道) /17 押し麦(日本) /17 乾めん(不明) /22 ぶり・天然(千葉県) /24 ライスミルク・玄米飲料(日本) /24 じゃがいも(東京都江戸川区) /29 ブルーベリージャム(フランス) /29 スズキ (焼き・神奈川県) /31 ニジマス甘露煮(埼玉県) /31 粉末茶(静岡県)			
8月	/5 ピーマン(青梅市) /5 ビワの葉(市内) /7 れんこん(茨城県) /19 じゃがいも(東京都江戸川区) /19 せんべい(不明) /21 パエリアソース(タイ) /21 ブルーベリー(東京都青梅市) /26 白米(岩手県宮古市) /28 きのこ惣菜(ぶなしめじ・なめこ・日本) /28 子持ちわかさぎ甘露煮(わかさぎ・中国)			

【2014年8月~2015年8月】10Bq/kg以上の測定結果

測定日	測定品目	産地	測定結果(Bq/kg)
3/13	干ししいたけ	山□県(原木:栃木県)	56.13
3/21	梅干し	福島県	11.12
4/15	びわの葉	市内	10.44
6/19	どくだみ草	市内桜町	43.59
7/3	製茶	埼玉県	30.71
7/22	梅酒	梅(福島県)	19.69
8/26	どくだみ草	東京都東久留米市	35.23

- *※2014年7月中旬~2015年2月中旬までの期間は、測定機器の故障のため測定募集を
- 中止しており、測定結果がありません。(2015年2月から測定募集再開)
- *測定結果はセシウム134とセシウム137の合計です (Bg/kg)
- *検体は洗浄・未洗浄に関わらず依頼者が持ち込んだ状態で測定しています
- *10(Bq/kg)が検出下限値です

下記測定結果の公表を控えます。ご了承ください。 2/25 梅(福島県)…容量不足のため

25年間の測定結果から、見えること思うこと

■25年前からの測定結果

1990年の7月に発足した当測定室は今年で25周年。測定スタート当時はチェルノブイリ原発事故から4年を超えていたので、ちょうど福島第一原発事故後の現在と同じ状況である。そこで当時の測定結果を見てみたところ、その数値の高さに驚いてしまった。その貴重な記録の一部を紹介する。

1990年頃の日本はイタリアのデザート「ティラミス」が大ブームで、イタリア料理が大流行。パスタも輸入物のイタリア産を日本国中がありがたがって食べていた。

しかし測定室の記録を見ると、一般に流通していた「スパゲティ」から32Bq/kg、「マカロニ」から16 Bq/kgのセシウムが検出されていたのだ。今なら大問題になりそうだが当時の国の基準値は370Bq/kgだったこともあり、業者に通知してもほとんど問題視されない対応だったと記録が残っている。また国内産の食品にも汚染の記録はいくつも残っており、1986年三重県産の「わたらい茶」を1990年に測定した結果は48 Bq/kgであった。

■1986年トルコ産ローリエの経年測定

また、「1986年トルコ産ローリエ」の測定結果からは、セシウムの減衰状況が一目でわかる。この 定点観測的な測定結果は、一度汚染されてしまったら容易には消えないセシウムを可視化する 意味もあり、今後も測定を継続し結果を公表していきたいと思っている。

1986年産ローリエ(トルコ)の経年測定結果(Bq/kg)

測定年	月日	セシウム134+137	セシウム134	セシウム137
1990	11月2日	540.2	63.03	477.17
1991	4月26日	534.91	47.73	487.18
1996	6月28日	494.71	21.39	473.32
1997	8月8日	428.95	16.83	412.12
2001	3月30日	387.54	0	387.54
2005	3月29日	371.91	0	371.91
2014	7月9日	294.01	0	294.01
2015	9月16日	313.42	0	304.75

■2015年の測定結果

現在に戻って、2015年に測定した結果から10 Bq/kg以上のセシウムが検出されたものを見てみる。干し椎茸(栽培:山口県/原木:群馬県)59 Bq/kg、梅干し(福島県産)11 Bq/kg、びわの葉(小金井市産)15 Bq/kg、ドクダミ草(小金井市産)43 Bq/kg、狭山茶(埼玉県産)30 Bq/kg、梅酒(福島県産)19 Bq/kg、ドクダミ草(東久留米市産)35 Bq/kgであった。放射性物質が残留しやすい食品(きのこ、果実、野草)の特徴がよく出た結果となった。

この内「びわの葉」については、検体の重量が軽いこと(測定が難しい)、小金井市産のびわの葉から10 Bq/kg以上の検出が疑問視されたことから、外部機関のゲルマニウム半導体検出器での測定を依頼した。その結果13.9 Bq/kgが検出され、市内にもまだまだセシウム濃度の高い場所があることがわかった。また、25年ものの測定器ではあるが、その性能には衰えがないことも確認された。

しかしながら機器の劣化は止めようがなく、昨年の7月から測定値を解析するパソコンのフロッピーディスクドライブ部分が故障し、その修理に半年かかった。今後の故障箇所によっては修理不能の場合も考えられ、25年間続いている測定活動の先行きが大変心配である。(矢澤)

【小さき声のカノン】

上映会を開催しました

梅雨明けも近い7月17日、私たち協議会 が主催する[小さき声のカノン]上映会が 市内宮地楽器ホールにて開かれました。 悪天候にもかかわらず午前、午後、夜の3 回の上映に合計で253名もの方々が来 場されました。用意したパンフレットがす ぐに売り切れてしまった為、ミニトークに 駆けつけて下さっていた鎌仲ひとみ監督 が自ら追加分を取りに事務所まで往復さ れ、その後もたくさんの方にパンフレッ ト、書籍等を購入いただくことが出来まし た。重いパンフレットを持って到着した鎌 仲さんがミニトークを2回目上映終了後 に特別にもう一回聴かせて下さり、予定 外の思いがけない監督再登場に会場は 沸きました。参加下さった皆さま、この上 映会を支えて下さった皆さまに厚く御礼 を申し上げます。まだこの映画を観てお られない方、今後も各地で自主上映が続 きますので、ぜひご覧になって下さい。



■世界各地で精力的に活動する武本氏



■ミニトークでの鎌仲監督

【海の中から地球が見える】 ~今、日本の海はどうなっているの? 武本匡弘氏講演会を開催しました

2015年2月、プロダイバーの武本氏の講演会を開催しました。武本氏は現在葉山市ご在住ですが、小金井市にある劇団、「現代座」の元俳優でもあり、現代座の方もたくさんお越しいただき、ご協力もいただきました。

原発温排水の影響、マーシャル諸島、ロンゲラップ島で被曝した人々の歴史、くらし。日本人は、ビキニ水爆実験では第五福竜丸の事がすぐ頭にうかびますが、もっとたくさんの人々がこの場所で直接爆風を受け、死の灰を浴びて被曝しているという現実。実際にマーシャル諸島の海にもぐり、現地の人々に会って話を聞いている武本さんならではの視点で語っていただきました。

会員募集中

小金井市放射能測定器運営連絡協議会の活動は、ボランティアの会員によって行われています。協議会 では、現在会員募集中です。現在会員は20名程度、毎月の定例ミーティングでは、測定結果の詳細な内容 などを確認したり放射能問題に関する情報交換等も行っています。測定は各自出来る範囲のスケジュー ルで交代で行っています。測定員にならなくても、WEBや事務作業その他の作業などを分担する場合も あります。自ら測定したり、情報交換する事で、放射能についての知識が深まります。原発、放射能問題に 関心の高い方は会員になってみませんか? 興味のある方、ご質問のある方は下記までご連絡下さい。

- ·年会費:1500円
- ・基本的に、月一回のミーティングに参加出来る方
- ・まずは測定室やミーティングをご見学いただき、その上で考えていただく事も可能です

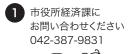
小金井市放射能測定器運営連絡協議会事務局

電話番号:042-384-0053 (香田 頼子) e-mail: koganei.sokutei@gmail.com

公式サイト:http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com/

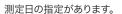
放射能測定 検体募集中

小金井市に在住・在勤・在学の方で、気になる食品の放射能測定をしたい方はどなたでも無料で利用出 来ます。下記の手順で小金井市役所経済課にお申し込み下さい。(非営利目的に限ります)















4 受付表に必要事項を記入 📦 測定 6時間測ります。



□ 6 検体と測定結果を記入した 通知表を受け取ってください



- ●検体は200ccの容量が必要です(重さではなく、容量なのでご注意ください。 測定場所: スパゲッティでは150gくらい、生しいたけでは210gくらいなど、同じ容量でも 食品によって重量が異なります。)
- ●検体はミキサーなどで細かく砕いておいてください
- ●測定済み検体と測定結果の受け取り方法は協議会とご相談ください
- ●食品に限ります
- 無料です

小金井市立上之原会館 武蔵小金井駅北口5分 〒184-0004 東京都小金井市本町5-6-19

申し込み・問い合わせ 小金井市役所 経済課 042-387-9831